

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	陸上競技場改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	小松崎 佳之			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	陸上競技場メインスタンド改修工事に向けた実施設計を行う。	③令和3年度に取組む改革・改善内容	適切な改修工事のため、工事監理による監督者を付けること、アスベスト処理のため一層の安全への配慮が必要である。
②①に基づく取組み結果	陸上競技場メインスタンド改修工事に向けた実施設計が完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	陸上競技場	意図(対象をどうするのか)	メインスタンドの改修を行う。
②事務事業の概要	計測機器等に配慮した空調設備、雨漏り対策のためメインスタンドの改修工事に向けた実施設計を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	グラウンドが整備された陸上競技場において、メインスタンドの整備をすることで、一体的な整備が完了する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	陸上競技場メインスタンド外壁塗装、防水改修、トイレの洋式化、空調設備工事を主とした改修工事実施設計が完了した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	陸上競技場メインスタンド改修工事実施設計委託			1 式	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	51,332	3,234	金額(千円)	内容		147,550
国支出金(千円)	0	0	3,234	設計委託		0
県支出金(千円)	0	0				0
市債その他(千円)	21,333	2,400				123,400
一般財源(千円)	29,999	834				24,150

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	実施設計にあたっての現場調査により、一部外壁にアスベストが含有されていることが判明した。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	陸上競技場メインスタンド改修工事が必要である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	改修工事実施設計委託	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	改修工事実施設計委託	4,380	4,380	当初	4,380	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	3,234
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
		令和3年度への繰越額(単位:千円)				0	

令和3年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	スポーツ施設維持補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	2	○
政策	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	担当課室長	小松崎 佳之			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容		③令和3年度に取組む改革・改善内容	市民体育館内の給湯・シャワー設備改善のため、ボイラー改修工事を行う。
②①に基づく取組み結果			

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	スポーツ施設	意図(対象をどうするのか)	施設維持のため修繕・工事を行う。
②事務事業の概要	スポーツ施設の適切な維持補修につとめ、市民サービスの向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	上記設備が改善することで、スポーツ施設利用として、また災害時避難所施設利用としての機能を果たすことができる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業の成果	アーチェリー場の安全対策工事として、防矢ネット増設、目隠しフェンス設置を行った。					
②成果を表す指標	指標名称		平成30年度	令和元年度	令和2年度	算定根拠
	i	体育施設改修工事(弓道場・アーチェリー場改修工事)			1 式	業務取得
	ii	市民体育館トイレ自動水栓等改修工事設計委託			1 式	業務取得
	iii	東野少年野球場整備工事			1 式	業務取得
③事務事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年度決算(事業費)の主な内訳			令和3年度予算
事業費(千円)	0	14,171	金額(千円)	内容		107,679
国支出金(千円)	0	535	7,920	施設改修工事		6,719
県支出金(千円)	0	0				0
市債その他(千円)	0	1,500				91,200
一般財源(千円)	0	12,136				9,760

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	アーチェリー場に防矢フェンス設置後、暫定的に再開するが、天井ネット設置など更なる安全対策が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	アーチェリー場再開後も必要な安全対策を講じていきたい。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和2年度の計画	改修工事	令和2年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	改修工事	47,952	46,305	当初	15,408	R1からの繰越	0
				R1⇒R2繰越	0		
③達成状況	完了			補正	32,544	現年分	14,171
④未完了・非着手の理由	体育館トイレ自動水栓等改修工事を全額繰り越したため			流用・充当	-1,647		
				令和3年度への繰越額(単位:千円)		29,700	